

**教授****ご活躍の足跡**  
(2015年1月～12月)

植村 邦彦

**分担執筆**

- (1)「ジョン・ロック——労働が所有権を基礎づける？」市野川容孝・渋谷望編『労働と思想』、堀之内出版、第2章、pp.45-60、1月刊。

**論文**

- (1)「社会労働運動の表象——赤旗の歴史」、関西大学経済・政治研究所研究双書第161冊『大阪の都市化・近代化と労働者の権利』、pp.167-200、3月刊。

**学会・研究会**

- (1)「ドイツにおける〈市民社会〉概念——16世紀から21世紀まで」社会思想史学会第40回大会シンポジウム、関西大学、11月7日。

**講演会**

- (1)「労働運動と謎の三色旗——組合旗の起源と歴史」、関西大学経済・政治研究所第209回産業セミナー、関西大学児島惟謙記念館、5月20日。

宇都宮 浄人

**著書**

- (1)『地域再生の戦略—「交通まちづくり」というアプローチ』筑摩書房、6月刊。

**論文**

- (1)「フランスの地域公共交通需要の動向と特徴」『交通学研究』、通巻58号、pp.153-160、5月刊。  
 (2)「アムステルダム都市輸送公社（GVB）の現状と課題」『関西鉄道協会都市交通研究所・第8回海外交通事情視察・調査』、研究シリーズNo.46、pp.57-65、6月刊。  
 (3)「地域公共交通の現状と課題～海外の動向を踏まえて～」『地銀協月報』第666号、pp.2-8、12月刊。

**分担執筆**

- (1)『モビリティをマネジメントする』藤井聡・谷口綾子・松村暢彦編著、学芸出版社、p.73、8月刊。

**学会・研究会**

- (1)「地域公共交通とソーシャル・キャピタルの関連性」日本交通政策研究会、同志社大学、7月25日。  
 (2)“Social capital and local public transportation in Japan” 14th International Conference on Competition and Ownership in Land Passenger Transport (Thredbo 14), Santiago, Chile, 30 August to 3 September.  
 (3)「地域公共交通とソーシャル・キャピタルの関連性」日本交通学会、八戸学院大学、10月11日。

**講演会**

- (1)「LRTがまちを変える ～地域再生のための交通まちづくり～」大阪まちなかカレッジ、大阪市中央公会堂、1月14日。  
 (2)「地域公共交通の再生とまちづくり ～LRTの可能性～」前橋市講演会、前橋プラザ元気21、2月10日。  
 (3)「地域鉄道の役割」若桜鉄道SL走行社会実験講演、若桜町立若桜学園さくらホール、4月11日。  
 (4)「地方創生と公共交通 ～交通まちづくりの新展開～」内外情勢調査会・豊田支部講演会、ホテルトヨタキャッスル、5月11日。  
 (5)「LRTとまちづくり ～交通政策基本法時代の新たな展開～」2015年枚方LRT特別講演会、ラポールひらかた、5月24日。  
 (6)「地方創生と鉄道 -成熟社会のまちづくりをみざして-」粟生線の未来を考える市民の会・第4回総会、三木市立市民活動センター、6月14日。

- (7)「公共交通復権～成熟社会の地方創生～」内外情勢調査会・函館支部講演会，函館ロイヤルホテル，6月22日。
- (8)「地方創生と交通まちづくり～海外の動向と日本の課題～」テクノメイトコープ・第19回公開講演会，道頓堀ホテル，7月15日。
- (9)「鉄道復権～成熟社会の地方創生～」日本鉄道技術協会四国支部講演会，四国旅客鉄道本社，8月5日。
- (10)「地域再生の戦略～『交通まちづくり』というアプローチ」群馬経済同友会講演会，ホテルメトロポリタン高崎，8月20日。

#### その他

- (1)「ドイツのLRT－ベルリンとボン」『路面電車EX』，第5号，pp.92-98，5月刊。
- (2)「新規開業が続く中国のLRT」『路面電車EX』，第6号，pp.116-122，11月刊。

#### 大塚 忠 論文

- (1)「アメリカにおける TWI 監督者訓練システムの衰退(上)」『関西大学経済論集』，第65巻第1号，関西大学経済学会，pp.1～24，6月。
- (2)「アメリカにおける TWI 監督者訓練システムの衰退(下)」『関西大学経済論集』，第65巻第2号，関西大学経済学会，pp.1～23，9月。

#### 北川 勝彦 著書

- (1)北川勝彦・高橋基樹編著『現代アフリカ経済論』ミネルヴァ書房（シリーズ「現代の世界経済8」第二刷），執筆箇所 序章 pp.1～31，第1章 pp.35～63，第2章 pp.65～89，終章 pp.353～379，6月刊。

#### 論文

- (1)「19世紀南アフリカのナタール植民地における鉄道建設」関西大学経済史研究会編『経済発展と交通・通信』，関西大学出版部，pp.229～257，1月。
- (2)「南アフリカのイギリス人プラント・ハンターたち」放送大学印刷教材 草光 俊雄・菅康子編著『ヨーロッパの歴史Ⅱ—植物からみるヨーロッパの歴史—』，放送大学教育振興会，pp.105～124，3月。
- (3)“Japan's Trade with West Africa in the Inter-War Period : A Study of Japanese Consular Reports”, *Kansai University Review of Economics*, No.17, pp.1~28, March 2015.

#### 学会・研究会

- (1)“Development of Japan-Africa Relations in Historical Perspective : Special Reference to Japan's Trade with East and South Africa “International Conference on Africa's Engagement with Japan, China, Korea and India : A Comparative Perspective, Jawaharlal Nehru University, Delhi, India, 9-10 October.
- (2)“Japan's Economic Relations with Africa in the Inter-War Years : Examining the Narratives of Consular Reports : Special Reference to Revision of the Congo Basin Treaty and Japan in the 1930s”, International Conference on Africa-Asia : A New Axis of Knowledge, University of Ghana, Accra, Ghana, 24-26 September.

#### 講演会

- (1)「新生南アフリカの経済事情」関西大学経済政治研究所第214回産業セミナー，りそな銀行大阪本社地下2階講堂，12月2日。

**北原 聡****分担執筆**

- (1)「近代日本における陸軍の道路使用—明治後期・大正期を中心に—」, 関西大学経済史研究会編『経済発展と交通・通信』, 第Ⅶ章, 関西大学出版部, pp.157～183, 1月刊。

**学会・研究会**

- (1)「戦間期における道路改良—道路法の制定と貨物自動車輸送の展開—」, 第4回交通史学会大会, 跡見学園女子大学, 5月10日。

**講演会**

- (1)「大阪の水運:いま・むかし—河川・堀川・渡し船—」, 関西大学おおさか文化セミナー, 関西大学第3学舎ソシオ AV 大ホール, 6月2日。

**後藤 健太****分担執筆**

- (1)“Chapter 6. The Textile and Garment Value Chain in Asia” in *Kansai in the Asia Pacific—APIR Economic Review*, Asia Pacific Institute of Research, pp.136–145, May.

**Working Paper (Discussion Paper)**

- (1)“Agricultural Modernization and Rural Livelihoods in Rice Farming Villages of Laos” Working Paper F-72, Economic Society of Kansai University, pp.1–21 (with Bounlouane Douangngeune), February.

**学会・研究会**

- (1)「英文ジャーナル:研究とフィールドをつなぐもの」国際開発学会全国大会・ラウンドテーブル発表, 新潟大学, 11月28日。
- (2)“More and better jobs through socially responsible labour practices in the Electronics Sector of Viet Nam” International Labour Organization CSR Project Launch Symposium, Hanoi, Vietnam, 10月9日。
- (3)“Middle Income Traps in Global Value Chains: A Functional Approach.” Fourth Global Conference on Economic Geography 2015, “Mapping Economies in Transformation”, University of Oxford, 8月20日。

**佐々木信彰****著書**

- (1)『東アジア経済・産業のダイナミクス』(共著) 関西大学出版会, 第一章「中国自動車産業の現状と課題」, pp.1～30, 3月刊。

**分担執筆**

- (1)「習李政権 中国経済の課題」, 関西大学経済・政治研究所東アジア経済・産業研究班編『東アジア経済・産業の変容』, pp.96～100, 3月刊。
- (2)「深刻化する格差 現状と対策」, 関西大学経済・政治研究所東アジア経済・産業研究班編『東アジア経済・産業の変容』, pp.205～219, 3月刊。

**論文**

- (1)「動向 民族問題」『中国年鑑 2015』, 毎日新聞出版, pp.97～100, 5月刊。

**書評**

- (1)高原明生・丸川知雄・伊藤亜聖共編『東大塾 社会人のための現代中国講義』(東大出版会, 2014年刊), 日本現代中国学会『現代中国』, 89号, pp.107～111, 10月刊。

**講演会**

- (1)「中国の政治と経済—中国の経済成長はいつまで続くか—」大阪港振興協会, 大阪市港区, 2月

17日。

**佐藤 真人**  
**論文**

- (1)「戦後日本の資本蓄積と労働分配率」『関西大学経済論集』, 第64巻3, 4号, 関西大学経済学会, pp.1 ~ 31, 3月刊。

**Working Paper (Discussion Paper)**

- (1)「戦後日本の資本利益率」Working Paper Series, J-42, 関西大学経済学会, 7月。

**新熊 隆嘉**  
**分担執筆**

- (1)「リサイクル制度の有効性と課題」, 鷲田豊明, 笹尾俊明(編)『循環型社会をつくる』(シリーズ環境政策の新地平7), 岩波書店, 第5章, pp.97 ~ 111。

**論文**

- (1) Takayoshi Shinkuma and Hajime Sugeta (2016), "Tax versus Emissions Trading Scheme in the Long Run", *Journal of Environmental Economics and Management*, 75: 12- 24.

**壽里 竜**  
**著書**

- (1) *Hume's Sceptical Enlightenment*, Edinburgh University Press, 10月刊。

**鈴木 智也**  
**論文**

- (1) "How will a risk of income fluctuations influence the suicidal decision making? Insights from a three-period model of suicide." *Eurasian Economic Review*, Vol.5, no.2, Springer, pp.331-343, December.

**研究ノート**

- (1) "A finite-time-horizon model of suicide when a person's income is at risk: a research note." *Australian Economic Papers*, Vol.54, no.1, Wiley, pp.43-51, March.

**学会・研究会**

- (1) "Quantifying macroeconomic impacts of shocks to a country-specific interest rate spread in an emerging country." 15th Eurasia Business and Economics Society (EBES) conference, Lisbon, Portugal, January 8-10.
- (2) "Quantifying macroeconomic impacts of shocks to a country-specific interest rate spread in an emerging country." 41st Eastern Economic Association annual conference, New York, USA, February 26-March 1.

**竹下 公視**  
**論文**

- (1)「現代中国の社会経済システムと『東アジア』—近代化論と文明論の観点から—」『関西大学経済論集』第65巻第1号, 関西大学経済学会, pp.43 ~ 65, 6月刊。
- (2)「『社会主義市場経済』と所有権制度—『機能的社会主義』と『機能的資本主義』—」『関西大学経済論集』第65巻第3号, 関西大学経済学会, pp.55 ~ 83, 12月刊。

**Working Paper (Discussion Paper)**

- (1)「現代中国における『社会主義市場経済』の実態—『機能的資本主義』(Functional Capitalism)—」『Working Paper Series』, J-43, Economic Society of Kansai University, 8月刊。
- (2)「東アジアの国際秩序(コンフリクト)と社会経済システム—日本からもっとも遠く離れた国・中国—」『Working Paper Series』, J-44, Economic Society of Kansai University, 9月刊。

**資料・その他**

- (1)辞書項目執筆「制度(institution)」『経済社会学キーワード集』経済社会学会編・富永健一監修, ミネルヴァ書房, pp.208～210, 5月刊。

**学会・研究会**

- (1)「現代中国における『社会主義市場経済』の実態—『機能的資本主義』(Functional Capitalism)—」経済社会学会第51回大会, 京都学園大学, 9月26日。
- (2)「東アジアの国際秩序(コンフリクト)と社会経済システム—日本からもっとも遠く離れた国・中国—」社会・経済システム会第34回大会, 法政大学, 10月25日。

**谷田 則幸****論文**

- (1)“An Agent-Based Approach for Social Exclusion from the Perspective of Social Networks”, *The Economic Review of Kansai University*, The Economic Society of Kansai University, Vol.65, No.3, December. (co-authored)

**学会・研究会**

- (1)“Agent Based Simulation for Educational Effects on Reducing Social Exclusion”, in Proceedings of The 20th Workshop on the Economic Science with Heterogeneous Interaction Agents (WEHIA2015), SKEMA Business School, Nice (France), 21-23 March. (co-authored)
- (2)“A Study on Education and Social Exclusion using Agent Based Simulation Model”, in Proceedings of The 21st International Conference on Computing in Economics and Finance (CEF2015), Howard Civil Service International House, Taipei (Taiwan (R.O.C.)), 20-22 June. (co-authored)
- (3)“An Agent-Based Model of Housing Policy for Supporting Easy Access to the Hospital”, in Proceedings of The 9th International Workshop on Agent-based Approach in Economic and Social Complex Systems (AESCS2015), Ramada Bintang Bali Resort, Bali (Indonesia), 9-11 September. (co-authored)

**土居 潤子****学会・研究会**

- (1)“A Model of Endogenous Innovation and Imitation” (with Lex Zhao), One Day Conference on Economic Growth and Open Macroeconomics, 京都大学, 3月21日。
- (2)“Lobbying Tariff and welfare” (with Yoshimasa Aoki), 第37回KMSG研究会, 龍谷大学, 7月11日。
- (3)“Lobbying Tariff and welfare” (with Yoshimasa Aoki), 第31回夏期研究大会, 関西大学経済学会, 7月15日。
- (4)“Tariff and Welfare in a Lobbying Economy with Heterogeneous Firms” (with Yoshimasa Aoki), 第17回RoMacSセミナー, 神戸大学, 10月16日。

中川 竜一  
論文

- (1) "Learnability of an Equilibrium with Private Information" *Journal of Economic Dynamics and Control*, Vol.59, Elsevier, pp.58 ~ 74, 10月。

学会・研究会

- (1) "Learnability of an Equilibrium with Private Information" Western Economic Association International 90th Annual Conference, Honolulu, 7月1日。

中澤 信彦  
著書

- (1) 佐藤光・中澤信彦編『保守的自由主義の可能性——知性史からのアプローチ——』ナカニシヤ出版, 288ページ, 10月刊。

分担執筆

- (1) 「反革命思想と経済学——マルサス『食糧高価論』に関する一考察——」坂本達哉・長尾伸一編『徳・商業・文明社会』第11章, pp.261 ~ 282, 京都大学学術出版会, 3月刊。  
 (2) 「エドモンド・バーク——「義務」なき「選択の自由」の帰結——」佐藤光・中澤信彦編『保守的自由主義の可能性』第1章, pp.29 ~ 60, ナカニシヤ出版, 10月刊。  
 (3) 「T・R・マルサス——農工バランス重視の経済発展論の今日的意義——」佐藤光・中澤信彦編『保守的自由主義の可能性』第3章, pp.87 ~ 117, ナカニシヤ出版, 10月刊。

論文

- (1) 「ハイエクはバークをどのように読んだのか? ——ハイエクの保守主義観の特質と意義——」『関西大学経済論集』第64巻第3・4号, pp.33 ~ 55, 3月刊。

学会・研究会

- (1) 「バークを読むケインズ——「エドモンド・バークの政治学説」(1904)と『自由放任の終焉』(1926)を中心に——」合同研究会(科研「啓蒙と経済学」・社会思想史研究会), キャンパスプラザ京都, 1月24日。  
 (2) "A Note on the Possible Implications of Keynes's Reading of Malthus's *High Price of Provisions*," 47th Annual UK History of Economic Thought Conference, Manchester Metropolitan University, Manchester, England, UK, 9月2日。  
 (3) 「「バークとマルサス」はどのように論じられてきたのか? ——研究史から見えてくるもの——」経済学史学会関西部会第168回例会, 大阪経済大学, 12月12日。  
 (4) 「バークを読むケインズ——「エドモンド・バークの政治学説」(1904)と『自由放任の終焉』(1926)を中心に——」第26回経済学方法論フォーラム, 関西学院大学, 12月26日。

講演会

- (1) "East Asian Economies: Contemporary Issues in Japanese economy," University of Sydney, NSW, Australia, 9月18日。

橋本 恭之  
論文

- (1) 「個人住民税のあり方について」『税研』Vol.31, No.2, pp.46 ~ 51, 7月。  
 (2) 「国庫支出金の構造変化について」(共著)『生駒経済論叢』, 第13巻第1号, pp.41 ~ 68, 7月。

資料・その他

- (1) 「財政健全化どう進める(中) - 所得税・遺産課税広範囲に」(共著)日本経済新聞, 経済教室, 6月23日。  
 (2) 「ふるさと納税制度の検証 大阪府下の事例を中心に」『租税研究』, 第792号, 10月。

**学会・研究会**

- (1)『ふるさと納税制度の検証』（共同報告）日本財政学会第72回大会，中央大学，10月17日。

**講演会**

- (1)「ふるさと納税制度の検証－大阪府下の事例を中心に」，日本租税研究協会，税制基本問題研究会，北浜フォーラム，7月21日。  
 (2)「税制改革の課題－法人税を中心に」大阪商工会議所，7月30日。

**橋本 紀子****論文**

- (1)「SINGLE法による勤労者世帯支出構造の変化点の検出－「家計調査」月次データを利用して－」『関西大学経済論集』，第65巻第1号，67-87ページ，6月刊。

**学会・研究会**

- (1)「市販のゴム動力車を用いた品質管理教育 第3報」日本品質管理学会関西支部第109回研究発表会，大阪大学中之島センター，9月18日。

**林 宏昭****論文**

- (1)「所得税改革の論点と方向性」『租税研究』，第791号，日本租税研究協会，pp.40～67，9月刊。

**学会・研究会**

- (1)「税制改革を巡る現状と課題」（司会）日本租税研究協会大阪大会討論会，関電会館，10月6日。  
 (2)「アベノミクスと税財政改革」（パネリスト）日本財政学会第72回大会シンポジウム，中央大学，10月17日。

**前川 聡子****論文**

- (1)「医療需要と医療負担の時系列分析－誤差修正モデルによる推定－」『関西大学経済論集』，第65巻第3号，pp.41-53，12月刊。

**学会・研究会**

- (1)「金融所得課税と企業の株主還元策：日本企業の場合」NCU現代経済学研究会，名古屋学院大学，9月19日。

**松尾 精彦****論文**

- (1)「プロ野球本塁打数の分析（一般化線形モデルの適用例）」『関西大学経済論集』，第65巻第1号，pp.25-42，6月刊。

**本西 泰三****分担執筆**

- (1)「中国の地方銀行の不良債権問題－政府の介入は影響したか？2002年の城市商業銀行データを用いた分析－」関西大学経済・政治研究所東アジア経済・産業研究班編『東アジア経済・産業のダイナミクス』，第3章，関西大学出版部，pp.55～75，関西大学経済・政治研究所研究双書第160冊，3月。

**学会・研究会**

- (1)“Risk Aversion and the Great East Japan Earthquake”日本経済政策学会関西部会2014年度大会，関西大学，3月14日。

## 准教授

## ご活躍の足跡

(2015年1月～12月)

石井 光  
論文

- (1) "Access Price Regulation and Strategic Infrastructure Investment", *The Economic Review of Kansai University*, 第65巻第1号, The Economic Society of Kansai University, pp.89～111, 6月刊。
- (2) "Access Price Regulation and Strategic Infrastructure Investment under Free Entry and Exit", *The Economic Review of Kansai University*, 第65巻第1号, The Economic Society of Kansai University, pp.113～133, 6月刊。
- (3) 「自然独占部門と競争部門が垂直分離された産業における戦略的投資と接続料金規制」, 『関西大学経済論集』, 第65巻第2号, 関西大学経済学会, pp.49～65, 9月刊。

## Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "Profit Enhancing Downstream Entry When an Upstream Monopolist Can Adjust Its Production Technology", Working Paper Series, F-74, Economic Society of Kansai University, 11月刊。
- (2) "Profit Enhancing Technology Offer from a High-Quality Firm to a Low-Quality Firm", Working Paper Series, F-75, Economic Society of Kansai University, 11月刊。

稲葉 大  
著書

- (1) 『マクロ経済学 入門の一步前から応用まで』 (平口良司・稲葉大著), 有斐閣, 10月。

## 論文

- (1) "Asset bubbles and bailouts", joint with Tomohiro Hirano and Noriyuki Yanagawa, *Journal of Monetary Economics*, 2015 forthcoming。

## Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "Asset Bubbles and Bailouts", joint with Tomohiro Hirano and Noriyuki Yanagawa, CIGS ワーキング・ペーパー, (15-004E)。

## 学会・研究会

- (1) "Lean Against Bubbles versus Clean Up After Bubbles Collapse in a Rational-Bubble Model", joint with Tomohiro Hirano and Jun Aoyagi, 台湾国立大学セミナー報告, 3月12日。
- (2) "Lean Against Bubbles versus Clean Up After Bubbles Collapse in a Rational-Bubble Model", joint with Tomohiro Hirano and Jun Aoyagi, Money Macro and Finance Annual Conference 2015, Cardiff University, 9月9日。
- (3) "The Regional Business Cycle and Growth Features of Japan", joint with Keisuke Otsu, 日本経済学会, 上智大学, 10月11日。
- (4) "The Regional Business Cycle and Growth Features of Japan", joint with Keisuke Otsu, 東京大学マクロワークショップ, 11月19日。

岡田 啓介  
論文

- (1) "Ethnic Diversity, Democracy, and Health: Theory and Evidence", *Research in Economics*, 69 (3), pp.353～376, September. (with Go Kotera, Nobuhiro Mizuno and Sovannroeun Samreth)
- (2) "A Simple Model of Contract Enforcement Institutions", *Pacific Economic Review*, forthcoming. (with Takuma Kunieda and Akihisa Shibata)



- (3) “Collateral Constraints and the Current Account: Theory and Evidence”, *Economic Inquiry*, forthcoming. (with Takuma Kunieda and Akihisa Shibata)

#### Working Paper (Discussion Paper)

- (1) “Corruption, Financial Development, and Economic Growth: Theory and Evidence from an Instrumental Variable Approach with Human Genetic Diversity” Department of Economics and Finance, City University of Hong Kong, Working Paper, No.2015060, August. (with Takuma Kunieda and Akihisa Shibata)
- (2) “How Does Democratization Affect the Composition of Government Expenditure?” MPRA Paper, No. 67085, October. (with Go Kotera)

#### 柏原 宏紀

##### Working Paper (Discussion Paper)

- (1) 「「大隈財政」再考—明治6～8年を中心に」 Working Paper Series, J-41, 関西大学経済学会, 7月刊。

##### 研究ノート

- (1) 「大隈重信の政治的危機と財政をめぐる競合」『史学雑誌』第124編第6号, 史学会, pp.52～76, 6月刊。

##### 資料・その他

- (1) 『岡部長景巢鴨日記』(共編), 芙蓉書房出版, 12月刊。

##### 学会・研究会

- (1) 「「大隈財政」再考—明治6～8年を中心に」第31回夏期研究大会, 関西大学経済学会, 7月15日。

#### 熊谷 幸久

##### 分担執筆

- (1) 「ジェームズ・フィンレイ商会の通信記録から見た東インド貿易」関西大学経済史研究会編『経済発展と交通・通信』第IX章, 関西大学出版部, pp.207～228, 1月刊。

##### 学会・研究会

- (1) 「Yukihisa Kumagai, Breaking into the monopoly: provincial merchants and manufacturers' campaigns for access to the Asian market, 1790-1833, Brill, 2013 をめぐって」社会経済史学会近畿部会と経営史学会関西部会による共催, 関西学院大学, 1月10日。
- (2) “The making of “free trade nation” in the structural change of Asian trade and the growth of British manufacturing industry, 1790s-1830s”, The 8th Anglo-Japanese Conference of Historians, 8月10～11日。

#### 神江 沙蘭

##### 資料・その他

- (1) 「今日の問題：ユーロ圏の金融安定化に向けた改革と課題」『月刊ジャーナル金融』, pp.106～107, 9月刊。

##### 学会・研究会

- (1) EU Studies Institute (EUSI) 国際カンファレンス *Responding to Challenges for the Eurozone: Resilience of Europe and New Perspectives of the EU Studies* 討論者として参加, 3月9日。
- (2) 「欧州統合と金融ガバナンス：不均衡な発展」日本国際政治学会 (JAIR) 研究大会, 仙台国際センター, 10月30日～11月1日。

**神原雄一郎****研究ノート**

- (1)「九州地域における自動車クラスターについての研究」『関西大学経済論集』第65巻第2号、pp.67～85、関西大学経済学会、9月。

**佐藤 方宣****資料・その他**

- (1)「難しい公共の合意形成（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、1月。
- (2)「多様な年齢層集う大学を（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、1月。
- (3)「衆知で格差問題取り組みを（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、2月。
- (4)「真の地域活性化とは（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、3月。
- (5)「景気回復で『外向き』に（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、4月。
- (6)「『食品ロス』削減の徹底を（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、6月。
- (7)「人文社会系の学問は不要か（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、7月。
- (8)「『中年フリーター』対策を（にっぽん診断） 10月」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、8月。
- (9)「若い世代への経団連の責任（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、9月。
- (10)「『経済学批判』はどのような歴史的系譜をもつのか——異端派と反経済学の展開」『総力ガイド！ これからの経済学 マルクス、ピケティ、その先へ（経済セミナー増刊）』日本評論社、pp.36～39、9月刊。
- (11)「図書館民営の是非の問い方（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、11月。
- (12)「寄付月間と他者への関心（にっぽん診断）」『経済ウィークリー（地方紙向け配信コラム）』共同通信、12月。

**学会・研究会**

- (1)「佐和隆光『経済学とは何だろうか』とは何だったのか」経済学史学会第79回大会、滋賀大学、5月30日。